



## 「ジオパークフェスティバルin八峰町」を開催しました

八峰町の皆さん、八峰白神ジオパークの発足おめでとうございます。このことをお祝いするために秋田大学では、「ジオパークフェスティバルin八峰町」を10月27日に旧岩館小学校で開催しました。約60名の参加者のみなさま、ボランティアのみなさま、ジオパーク事務局のみなさまどうもありがとうございました。

### 5つのブースでジオパークを紹介

フェスティバルについてご紹介します。

5つの実験ブースを作り、第4ブースで、八峰白神ジオパーク推進協議会の工藤会長によるジオパークについての説明からフェスティバルは始まりました。

そのあとの2時間は各ブースを思い思いに参加した皆さんに回っていただきました。

第1ブースは、「ストレス発散！石割り体験コーナー」。2000万年前のマグマが固まった石を割りました。ネットと網で作られたスペースで、防護メガネと軍手をつけて、ハンマーで思い切り石を割るのです。子どもたちは割った石をお土産として持ち帰っていました。石割りという単純な体験ですが、石の感触を感じることで、それにつながる「ジオ」を感じてもらえればと思います。

第2ブースは「体験しよう、キッチン火山実験」。ここでは火山に関係した4つの実験を行いました。歯医者で使う粉を使った実験と、チョコゼリーの実験は、火山がどのようにしてできてきたか体験してもらったための実験です。八峰町の海岸線では、積み



ボランティアの方々にもご協力いただきました

重なって見えている火山の溶岩（とても古いのですが）を再現する実験です。また、カルデラを作る実験と火山の噴煙を作る実験も行い、八峰町で2000万年前に起こった巨大な噴火を再現しました。

第3ブースは、「温度が見えちゃう！赤外線カメラで見る世界」です。物体は光を発していないように実は赤外線という光を出しています。私たちの体からも赤外線が出ています。この赤外線をとらえて温度を知るための装置が赤外線カメラです。活火山の地面の温度を調べる時に使います。ジオパークとはあまり関係ありませんが、おもしろいので体験していただきました。

第5ブースでは、八峰白神ジオパークの缶バッジ製作コーナーが設けられ、参加した皆さんはそれぞれ缶バッジを自分で作り、持ち帰っていました。

### 活動体験を通して楽しむ

このような体験的な活動は、これからのジオパーク活動にきつと役立つと思います。

八峰町の海岸にある過去の火山について説明するのはなかなか難しいことです。ジオパークを訪れたツーリストのお客様に実感をもってわかっていただき、さらにおもしろがってもらっためには実験が効果的ではないかと私は思っています。



キッチン火山体験

秋田大学教育文化学部 教授 林 信太郎

八峰白神ジオパーク推進協議会

〒018-2612

秋田県山本郡八峰町八森字ノケソリ116

旧岩館小学校内

TEL 0185-78-2427